

長屋談義 世界を支配する陰の権力とは

クマさん「たいへんだ～、大変だ。ご隠居さん、いるか～」

ご隠居「なんだね、またまた大声をあげて、みっともないからいい大人が往来からそんな大声をあげるんじゃないよ。一体何事が起こったんだね。」

クマさん「そんな、落ち着いていられるってんだ。いまよそで聞いてきたんだが

中国の経済が破綻しそうだというのはご隠居さんからも前から聞いていたんだが、アメリカもデフォルトっていうんだかドル体制が破綻してしまうそうなんだ。そうなるとアメリカの国債やドルは紙くずになってしまい、日本も破産して大恐慌になるっていうんだ。」

ご隠居「なるほど、それを言った人はなかなか勉強している人だな。そういうことを言う人はかなり増えていて、実際そういうことが起こってもおかしくないほどアメリカの財政事情も悪くなっているんだ。」

クマさん「そんなのんびりした言い方じゃあ、困るじゃあね～か。じゃあ、日本も破産するってのも大いにありかね？」

ご隠居「ドル体制が崩壊すれば、世界一の米国債を持っている日本も破産状態になるのは当然だ。」

クマさん「なんだ、白けた言い方だなあ。そうなったらあつらの生活はどうなるんで。」

ご隠居「そうなればいまのギリシャのように国家財政は破綻、失業者は増大、年金も大幅削減、経済は大不況となるだろうな。」

クマさん「ありゃ、ま～、そんなに落ち着いて話すことじゃね～んだらう。」

ご隠居「多くの識者の話を読んでいればそうなる可能性は十分あるんだ。そうなるまでアメリカは好き勝手に世界中でドンパチやって来たし、日本は言いなりになってアメリカの借金である米国債を買ってきたんだから、アメリカがポシャれば日本も一蓮托生だということさ。だから先月もつつましく生きることを考えるしかないと言っただらう。」

クマさん「そりゃ、そうだが、ご隠居さんはバカに落ち着いているんじゃないか。」

ご隠居「別に落ち着いているわけじゃない。半分あきらめだし、その後にく

るものを生きている間であれば、その行方をしっかり見据えてやろう  
と思っているのさ。」

クマさん「いったい、ご隠居さんは何を考えているんだ。何を言いて~んだね。  
もう少しあっしにもわかるように話してくれんかね~」

ご隠居「よし、それじゃあ、もう少しズバリ話そうじゃあないか。いいかね。  
このいまの世界では生活のために一番必要なものは何かね。」

クマさん「そりゃあ、ゼニだよ。お金がなけりゃ何も買うことができね~し、  
クチが干あがってしまわ~」

ご隠居「そのお金を作っているのは誰だね？」

クマさん「そりゃあ国だろうが、あれ？日銀だったかなあ。」

ご隠居「日銀で正解だよ。ではアメリカはどうかな。アメリカの中央銀行に相  
当するのが連邦準備制度（F R B）というんだ。これは純民間企業で  
たくさんの民間銀行が株主となって居り、そのほとんどがロスチャイ  
ルド系の国際金融銀行なんだ。だからアメリカ議会はなんら監査さえ  
もできないんだ。経済はお金の流れだからアメリカの経済はロスチャ  
イルドが握っているんだ。」

クマさん「へー、国がやっているんじゃないかあ~のかあ。それじゃあ国がなんか  
やるって言ったって思うようにできね~ってわけだなあ。」

ご隠居「だからアメリカ政府は、税金以外の財政は借金である国債を発行して  
F R Bや日本の政府や銀行に買ってもらっているんだ。もっと昔にも  
民間中央銀行がつくられていたんだが歴代大統領が反対したんだが強  
い反対をしたリンカーンやケネディなどはなぜか暗殺されているん  
だ。」

クマさん「なんだか、恐ろしい話だなあ。それでいまのF R Bがロスチャイル  
ド系の民間企業だとすると、日本の日銀もそうなのかね。」

ご隠居「日銀も明治時代に日銀法で作られているが、日本の場合は国も出資し  
て居る様なんだ。だから国にも利益配当があるはずなんだ。しかし実  
体はロスチャイルドの影響下にある三菱銀行の力が強いらしい。それ  
らは情報が少なく不明なことも多いことは事実だ。問題はアメリカも  
西欧の国もこうした国際金融資本の手によってその国の経済を握られ  
ているし、その歴史はとても古いんだ。たとえば日本が日露戦争に踏

み切った時に財政難のためにイギリスやアメリカのユダヤ資本から国家予算の10年分の巨額の資金を借りているのだが、他方、帝政ロシアが東方へ鉄道を伸ばしていくために同じようにロスチャイルドが資金を貸しているし、ロシアが崩壊の時にレーニンたちに資金を出している。そうしたように戦争になっても別々に両方へ資金を貸して巨額の利益を得てきているんだ。」

クマさん「だけどアメリカはロックフェラーが牛耳っていたと聞いたぞ。」

ご隠居「アメリカは産軍複合体制とアイゼンハワー大統領が警告したように事実上の実権を握って居たわけだが、ソ連が崩壊して冷戦時代が終わった時、軍事費が削られることを恐れて南米やあちらこちらへ戦争を仕掛け、武器の販売や軍事費の増額を手にしてきたんだ。そうした武器製造企業、石油メジャー、金融資本などが力を持ち元はロスチャイルドの下にいたロックフェラー系が主流になってきたんだ。ところがあまり戦費などを使いすぎて国家財政も赤字続きとなり、リーマンショックなど傘下の金融機関の力も衰えてきてロスチャイルド系が強くなってきたようなんだ。」

クマさん「なんだか信じられね〜話だなア。」

ご隠居「たとえば両方の系統を見てくれ。」

＜藤井昇氏の研究に基づいて作成された表(二大陣営)＞

	ロックフェラー 米保守本流派	VS	ロスチャイルド 米シオニスト派
石油 エネルギー	●エクソン(旧スタンダード石油) ●モービル		●ロイヤル・ダッチ・シェル(蘭) ●フリティッシュ・ペトロリアム(英)
情報・通信	●IBM ●MCI		●AT&T ●NCR
金融	●メリル・リンチ ●ディロン・リード ●モルガン・スタンレー ●ケミカル銀行 ●チェース・マンハッタン銀行		●ゴールドマン・サックス、モルガン銀行 ●ロスチャイルド銀行(英) ●スタンダード・チャータード銀行(英)
化学・電機	●GE(ゼネラル・エレクトリック) ●アライド・シグナル		●フィリップス(蘭) ●デュポン
自動車・防衛	●GM(ゼネラル・モーターズ) ●ゼネラル・ダイナミクス ●ボーイング ●マーチン・マリエッタ		●フォード ●ルノー(仏) ●フリティッシュ・エアロスペース(英) ●ダッソー(仏) ●ロッキード
マスコミ その他	●ペプシコーラ ●NBCテレビ ●AP通信 ●USニュース&ワールド・リポート ●ウォール・ストリート・ジャーナル		●コカ・コーラ ●ABCテレビ ●CBSテレビ ●ロイター通信 ●ニューヨーク・タイムズ ●ワシントン・ポスト

現在は相対的にロスチャイルド系が勝って居る様なんだ。」

クマさん「そうしたことが本当なら、アメリカが破綻したら彼らだって困るだろうが。」

ご隠居「ロックフェラーはどちらかと言えば共和党的であったが、いままでアメリカの政治経済を牛耳ってきたが行き詰ってきたため、産軍複合体はイラクやシリアの石油の権利を手に入れようとして9. 11テロを企画し、イスラエルのモサド辺りに実行させたと世界の識者は言っている。」

クマさん「えー、そんなバカな。」

ご隠居「そうした情報はNHKや大手新聞では報道されず、民放のたけしの番組で極めものとして流される程度だ。しかし、その後の状況はイラクでは思うような展開はできず、シリアでも反政府勢力を育成してシリアを分割して石油利権を手に入れようとしたが、ロシアの支援でうまくいかずIS(イスラム国)のテロ暴走に手を焼いている状況だ。ロックフェラー系のネオコンやCIAなどが策謀し、オバマがその尻ぬぐいをやって歩くというアメリカはマッチポンプを演じているんだ。」

クマさん「このまえ、ウクライナ騒動もCIAやネオコンの介入だと言っていたが、シリアなんかもそうだったのかア。」

ご隠居「それらは元駐ウクライナ大使もやっていた馬淵氏の本に書いてある。事件の陰に国際金融資本の策謀があるということも書いているんだ。リビアやアルジェリアでも民主化を支援すると言いながら石油利権を手に入れようとしたんだ。南米でも様々な策謀があったんだが次第にバラバラとなり反米派が中東でも南米でも増えてしまい動きが取れなくなってしまう。こうした状況の中でロスチャイルドはもはやアメリカでの利益稼ぎは限界で、一時はブリックス（BRICS）に力を入れようとしたんだが、すでにロシアのプーチンは国際金融資本とは手を切っていく姿勢であり、中国やブラジルなどへ力を入れたが中国は過剰生産で自滅し、ブラジルも汚職等で経済は混乱して居るためすでに中国の銀行等の資本を引き揚げている。たとえばゴールドマンサックスなんかは中国のすべての株式を売却してしまった。」

クマさん「それじゃあ、中国もおしまいだなあ。それで彼らはどう動こうとしているんだね。」

ご隠居「いや彼らの手口は、中国経済が破綻したら巨額の貸金で経済支配をするだろう。東アジア金融危機の折にはIMFを通じて株式を海外に開放させており、いまや韓国の財閥は国際金融資本のために利益を吸い上げられる構造になっている。彼らはグローバリズムで、国境を越えて商売を自由にやりたいという基本線があるから出てきた方針がTPP（環太平洋経済協定）だ。オバマはロスチャイルド系から支援を受けて大統領になっているからそうした方向で動いてきたんだな。」

クマさん「え～、あのオバマ大統領もね～」

ご隠居「ロックフェラー系のネオコン、NSA、CIAなどが色々策謀を仕掛け

てきたんだが、その証拠をプーチンに突き付けられてオバマはイスラエルを切り、イランと手を打ち、南米と融和するためにキューバとの国交回復を進めているんだ。そしてオバマも米中の蜜月の関係を見直さざるを得なくなり、TPPに力を入れたんだ。ロスチャイルドにすれば、TPPが成立すれば世界の40%のシェアでの経済を牛耳ることができる」と計算しているんだ。だけど議会多数派の共和党は反対だし、民主党も日本の自動車産業に押されてほとんど反対で次期大統領

候補のクリントンも反対を表明している。これでは日本が批准してもアメリカ議会では批准ができず、甘利大臣の辞任に付込んでTPP批准のため日本側に再交渉を要求してくるだろうし、交渉では手ごわい相手であった甘利大臣がいなくなればやりやすい。」

クマさん「まさか、甘利大臣をはめたのもCIAかな。」

ご隠居「そうした可能性も否定できないな。米国債を減らそうとした田中角栄もアメリカ側のリークで退陣させられ、橋本首相もスキャンダルで退任、中川大臣も謀略で殺されたという説もある。ドル防衛はアメリカの生命線だからな。しかしロスチャイルドは分からんぞ。もう機能しきれないFRBもやめて、ドルに代わる新紙幣（アメロ）を発行しようといううわさが前からある。ニクソンの時も金兌換をやめて事実上借金をチャラにしている。当時の日本は成長期だからもったがいまは借金だらけであり、米国債やドルが紙くずになったら日本は大破産だ。」

クマさん「ほんとかな～信じられね～や。」

ご隠居「いや、もうこうしたことを見抜いて独仏や中国なんかはドルを金に変えているし、FRBに金を要求してもはや金の保有はカラだそう。そのうえ、中国が米国債を少しずつ売って居り、元が下がるとドルを売って元を買い、ドルがあがると米国債を売るという狡猾な手を打っているらしい。自国の経済も厳しいがドル支配体制の崩壊となれば金と元でアジアなどでの元支配体制を築こうという狙いもあるようだ。アメリカが支配してきた石油や天然ガスで世界1、2のイランとロシアが決済にはドルを使用しない方向だ。AIIIB（アジア開発投資銀行）もこうしたドル体制衰退を見据えながら打っている策略だ。」

クマさん「う～ん、あまりに遠い雲の中の話でちっともわからね～や。それでも知り合いが同じようなことを言っていたんで、まんざらご隠居さんのでっち上げではなからうなア。」

ご隠居「こんな話が私の創作ならなにも心配することはない。ただの笑い話でいいんだ。しかし短期的には中国の経済不振、そして財政バブルの破綻が引き金となってアメリカの財政破たんも起こるだろう。つまり莫大な雇用保険基金まで株式に投じて無理やり好況を装っても株の暴落があればたちまちアメリカの財政は破綻する。もちろん日本もだがね。そうしたときにロスチャイルドなんかは屑となった株式や債券を買い集めて巨額の利益を上げてきた歴史があるんだ。彼らにとっては大恐

慌や戦争はまたとない儲け口なんだ。」

クマさん「なんか絶望的な話しだなあ。いって〜どうなるんだ。」

ご隠居「もちろん一時的には大混乱が来るだろうね。しかし、世界はの人はいつ

までも騙されてばかりはいないよ。こうした情報が私らのところに来るようになったんだ。つまり彼らはだますことによって利益を上げる仕組みを作ってきたんだ。いまアメリカの大統領選挙が混とんとしているのも国民の不満がとて強くなっていて、金融資本がマスコミを牛耳って世論を操作するだけではもたなくなっているんだ。」

クマさん「トランプなんていうやつが人気があるのも落ち目になったアメリカ人のうっぶん晴らしかなあ。」

ご隠居「アメリカもFRB（中央銀行）はやめて国家が紙幣を発行する時代が来るかもしれないんだ。それは政治を国民の手に取り戻すチャンスでもあるんだ。彼ら金融資本は陰でしか動けない。彼らの手から政府が独立して政治を動かせるようになれば国民の声も届きやすくなる。金融資本家の利益のために紙幣を莫大に発行して、国民からは利息を取り、金貸しはますます太るような仕組みは終わらせるチャンスなんだ。こう考えれば地球レベルで平和と富の分配が公平に行われる方向へ改革する展望が出てくるんだ。だからズバリ言えば紙幣も国が発行すればいいんだ。そうすれば国は金利を払わなくても資金を用意できるんだ。いまや日米の政府は借金の利息を払うために借金を重ねているじゃあないか。クマさんも心配するだけでなく、悪徳金融資本家のたくらみに惑わされないようにいろいろ勉強していこうじゃあないか。」

クマさん「そういったってゼニは圧倒的に向こうが持っているんだぜ。そう簡単にはいかね〜なあ。」

ご隠居「もちろんそう簡単には行かないだろう。これは世界史レベルで考えなくてはならない課題なんだ。確かに国際金融資本家たちは世界中の富を独占している。もうこれ以上紙幣を発行しても利潤を上げられないところまで来ているんだ。金利で儲けてきた資本家がマイナス金利なんて言うところまで来たということは彼らの行き詰まりなんだ。また戦争を仕掛けようとしてイラクやリビアなどを攻めて崩壊させたが難民が発生してEU諸国は頭を抱えていてアメリカに対する不信感が強くなり、イスラエルをけしかけてイランとの戦争やウクライナクーデ

ターを起こさせて対ロシアとの戦争を起こさせようとしたがいずれも失敗し、シリアではトルコやサウジアラビアを使って陰で育てた I S (イスラム国) が暴走し、コントロールが効かなくなりやむを得ず I S 壊滅でロシアに歩調を合わさざるを得なくなっている。こうして長い目で見れば世界はもう必ずしも国際金融資本家の思うようにはいかななくなっている。世界一の地下資源国ロシアとイランが手を組んでドル決済をやめていくこともドル支配体制の縮小だ。」

クマさん「なるほどそれで以前ご隠居さんが言ったアメリカは中東から手を引いてアジア重視となったというわけかア。さっきの T P P もそうした流れと考えりゃあなんとなくわかるなア。」

ご隠居「T P P には、ロスチャイルド派の意向が多分にあると思うが、ロックフェラーのような産軍複合で世界中に戦争の種をばらまくよりまだという考えもあるんだ。もちろん経済戦争でもどちらへも金を貸して儲けようという国際金融資本家の本質は変わらないが、世界での大きな戦争はできなくなっている時代であり、小競り合いはまだ続くだろうが各国の国民の力が強くなれば弱肉強食だけでは通用しない。国際資本が好き勝手にやるグローバリズムより、各国が独立性を保って平和的に連携していく方がいまの世界では必要だ。」

クマさん「ああ、今日はものすげ〜話を聞いたもんだ。頭がくらくらするぜ。もう早く帰って一寝入りしなくちゃあ、」

ご隠居「そう早く逃げ出そうなんて駄目だよ。これからの世界がどうなるのか、どうすればいいのかという話もきいてくれなければ来たかいがないぞ。」

クマさん「え〜、そんな話があるのかア。そりゃ聞き捨てにならね〜や。」

ご隠居「こんごの展開はかなり厳しく見ていく必要がある。時間的な問題もあるが、中国も『一路一帯』計画でロシアやユーラシア大陸諸国との連携や A S E A N、インドなどとの連携を強化するだろう。上海協力機構などはその動きだ。そしてドル体制に対して新通貨体制の推進を進めるだろう。それとは裏腹にドル体制はますます低下していくだろう。そのはざままでドル体制が崩壊するか、アメリカ政府が生き延びるための新紙幣への切り替えをやるのか、今の段階ではわからないがそうしたことが取りざたされているということは肝に銘じておく必要がある。その時に表の政治権力と裏の金融資本家との連携があるのか、対立す



るのかは、こんごのアメリカ国民の判断にかかっている。」

クマさん「それは共和党と民主党の争いと言うわけかな？」

ご隠居「いまはロスチャイルドが主導権を握っている様だ。アメリカも88%の富は一部の富裕層が握って居り、中間層が没落して貧困層が拡大している。だからいまや国際金融資本家と国民の利害対立の中で、国民の不満が大統領選での紆余曲折にも表れているとみるべきだろう。」

クマさん「でもロスチャイルドとロックフェラーが事実上手を組んだような状況じゃあ、とても国民の意向は反映できね~んだろう。」

ご隠居「たしかにそうした面もある。しかし、影の権力はしよせん陰にいたるしかなく、カネでイデオログを雇い、メディアを独占するが人脈による間接的な支配でしかない。直接的な政治権力にはかなわない。だから彼らは何か起こると、つまり戦争などでいつも両方へ金を貸して儲ける方法を探り、国家への忠節などない。むしろドル体制が崩壊すると読めば、早急に他の方への投資もやるし、紙くず同然の債券を買い集めて後で大儲けをたくらむんだ。そうしたやり方を続けてきたんだが、果たして今後同じようにいくかどうかは分からないぞ。」

クマさん「どういうことかね。なにか別の動きがあるのかなア。」

ご隠居「簡単に言えば、1%の富裕層が88%以上の富を独占するようなことがいつまでも続いていいわけがない。そうした構造がだんだん見えてきてそれに抵抗する動きもある。ロシアもソ連崩壊時に国際金融資本が入り込んで大きな混乱と痛手を背負わされたんだ。だからプーチンは徹底して抵抗したため国際金融資本から恨まれており、ネオコンなどを使ってウクライナ政変を仕掛けられたりしてきたから彼らとは対峙している。南米諸国も中近東やEUさえもアメリカに対する信用は低下している。アメリカ国民の不満も増大して居るようだ。混戦している米大統領選もニューヨークタイムズが苦戦しているヒラリー・クリントン支持を明確にしたことだ。ロスチャイルドは民主社会主義者のサンダース候補よりもクリントンを有力候補として支持を表明したんだ。」

クマさん「ふ~ん、国民の不満があるからサンダースのような社会民主主義者を名乗る人が有力になるんだからおもしれ~なアとっていたんだが

な~」

ご隠居「つまりロスチャイルドとしては、BRICSに金を貸して儲けようとしたんだが、どうも中国の経済は思わしくないばかりか、ロシアはあまりいうことを聞かないのでサジを投げた感じだな。」

クマさん「それじゃあ、ロスチャイルドはしばらくはFRBという体制を維持しながら、TPPの行方を見てみようということなのかなア。」

ご隠居「お~、クマさんもわかってきたようだな。私もそういうところかなと見て居るんだ。国際金融資本もあまり儲ける場所が少なくなっているんだ。だからおそらくTPPが最後のとりでだろう。そして中国の上海協力機構の動きを見ながら様子見をするだろう。」

クマさん「う~ん、油断はならね~がしばらくは様子見かア、けど中国经济の影響で景気はだんだん落ち目になるんだろう。」

ご隠居「それはもはや否定できないことだ。いずれ大変動は覚悟しておいた方がいいな。」

クマさん「え~、おどかしっこなしだよ。」

ご隠居「おどかしているわけじゃあない。素人考えでも不換紙幣であるドルを大量に印刷して世界中にばら撒いて、それをかき集めても実体経済が好況になるわけではない。株式だって本来は企業の業績評価だが、マネーゲームになると桁が違う取引が行われるようになり、実体経済とは別問題だ。そうしたマネーゲームが中国经济の悪化を引き金にしてはじけることがあっても当然だ。」

クマさん「それじゃあ、あつしが相談に来た時の話とおんなじじゃあね~か。」

ご隠居「そうした閉塞状態がいまの危機なんだ。だからそれを打開する方向は何だろうと考えなくてはいけないんだ。その一つに先月はつつましく生きる、ということをやっただろう。だがそれだけでは片付かない問題があるんだ。いいかね。私は時代閉塞の打開と言ったが、それは歴史的にも考えなけりゃあならないんだ。」

クマさん「またまた歴史かあ。こりや大変だ。」

ご隠居「そんなにムキにならないで聞いておくれな。いいかね、いま世界の基本は資本主義ということになっている。資本主義は資本家が事業に出資して利益の中から元利返済と配当を求めるんだ。この資本主義は中

世の教会支配を脱して近代思想では唯物主義になったんだ。現代科学もその流れを引き継いでいるんだ。資本主義が収奪や搾取によって成り立ったが、それを克服しようとしたマルクスなど共産主義も同じように唯物主義を基本にしているんだ。だから資本主義の発達とともに修正主義を取り入れて資本主義は今日まで続いているわけだ。」

クマさん「ふ～ん。」

ご隠居「ところがその資本主義を克服するはずの共産主義も大きな誤りを犯しているんだ。私なりに簡単に言えば、①宗教的迫害を排除するため唯物論を強調したが人間の精神性、つまり霊性を否定してしまったんだ。②プロレタリアート独裁と言う理論で一部の特権階級を作り、富めるものがますます富めるものになる仕組みを容認してしまったんだ。③さらに富の無制限な独占が権力の民衆支配を許してしまったんだ。」

クマさん「なるほどね～、それでどうしたらいいんだ。」

ご隠居「資本主義も共産主義も破綻しているんだ。だからそれを打開しなくてはならないんだ。その方向は両方の矛盾を乗り越える方向でいくしかない。だから次の時代にはまず一人一人の人間の霊性を認め尊重し合うことが大切だ。私たち人間はこの世に生まれたのは様々体験を通して魂を磨くために生まれてきたんだ。」

クマさん「へー、たましいね～。そんなのがあるのかなァ。」

ご隠居「あの世があるかどうか今は議論しないが、あると仮定して生き方を考えると生きがい生まれるし、自分の人生を大切にすることになることは様々な臨死体験、退行催眠など臨床医学的にも立証されているんだ。」

クマさん「利子や配当がなくなれば会社なんかなくなってしまいうんじゃあね～のかなァ。」

ご隠居「いますぐに利子をやめられるわけじゃあないが、すでに日銀なんかはマイナス金利制度を導入しているんだが、利益が見込まれなくてはそれによって設備投資をしようとする企業は少ない。だから株式などのマネーゲームで金融資本家は利子以外にも利益配当を手中にしようとするんだ。だからいまはNPOや一般社団法人など配当を期待しない組織も増えているんだ。出資して配当を受けるという資本主義が過当な競争や収奪・搾取を求めるんだ。なんで国が必要とする資金を銀行から借りて利子を払わなくてはならないんだ。国が必要な金額を国会

で決めて紙幣を印刷して事業回収や税金で決済すればいいんだ。」

クマさん「そんなうまくいくかなア。」

ご隠居「たとえば東京に城南信用金庫というすぐれた事業所があるが、これは前に話した二宮尊徳思想を継承しているのだろうが、商店の事業者が役員であり、事業者のための融資を行い利益は求めない。だから配当もないんだ。いまNPOや一般社団法人などがどんどんふえていることが時代の変化を象徴しているんだ。資本家の利益よりも構成員でもあるグループの利益分配を先行するんだ。これは国際金融資本家には理解できない方向だ。」

クマさん「なるほどね〜、で三番目の独占禁止なんてできるかなア。」

ご隠居「これは一部の私的独占を禁止または制限することから始めればよい。共同的な社会で公平な分配が行われるようになれば私的独占は当然なくなるが、その間は、相続税や累進課税によって寡占を制限していくことから始めればよい。いまは金持ちはますます金持ちになれる仕組みなんだ。」

クマさん「なんだ、①、②、③もやればできるんじゃないか。」

ご隠居「そうなんだよ。国民が目覚めればそんなことは当然できる様になるんだ。それができないのは真実の情報が国民の目に届けられないからだ。一般に報道されるのは上っ面の話だけだ。たとえばヒラリー・クリントンが選挙運動中に“大統領になったらUFOについて究明したい”と発言しているんだ。」

クマさん「え〜、UFOかア。そりゃあマジかね。」

ご隠居「公の席で発言しているんだ。まちがいない。だいたいUFOについては米政府が情報を隠して本当のところは発表しない。旦那のクリントンも頑張ったようだが産軍複合体にはかなわなかった。以前から一部のNASAや軍部元パイロットや宇宙飛行士などが公的な場で発言しているんだ。アメリカはUFOから得れた技術を独占しようとして機密情報にしている。これをロシアが批判しているんだ。」

クマさん「本当かいな。」

ご隠居「日本の国会でも何回も質疑されているが、個人的には認めている防衛大臣などが公式回答では否定しているんだ。昨年秋の国会でも質問があったが、“宇宙人が乗っているUFOがあるかどうか確認できていな

い。”と回答しているんだ。UFOに宇宙人がいるかどうか質問しているわけじゃあない。スクランブル回数の中に国籍不明以外にその他の数字があり、未確認飛行物体を確認しているのか、どういう対応しているのかを質問しただけなんだ。それほど日本政府はアメリカに気を使っているんだ。」

クマさん「いって何の言いたいんでイ。」

ご隠居「私はアメリカ自身がどうなるのかわからない状態の中でいつまでも言いなりになっているのはどうかということだ。アメリカは尖閣列島問題だって中途半端な見解で中国側の挑発を誘発しているし、中国が米国債を小出しに売り出しているようだが、これが本格化すれば暴落してしまう。その時にアメリカは日本を見捨てるだろう。慰安婦問題だってアメリカは日本を貶める韓国側を容認してきたんだ。アメリカはもはや一枚岩じゃあない。いつでも日本を見捨てる連中がいるってことを忘れてはならない。」

クマさん「なんだ、えれ〜話になってきたなア。」

ご隠居「少し脱線したようだが日本はもっと世界の情報を探り、自主、自立を考えなくては国の独立も難しくなってしまうかねないんだ。だからアメリカだけでなく世界の動きをよく見ながらも、日本としての生き方をしっかりと築いていくことが大事だ。仮にドル体制が破綻して大恐慌が来ようが日本的雇用や地域共同体としての助け合いがあればやっていけるんだ。それは阪神や東日本大震災などで証明されている。だいたい人間の死亡率は100%なんだ。“死ぬときには死ぬのがよろしい。”と良寛も言っているが、この宇宙の法則は“あるがまま、なるがまま”なんだ。クマさんだって大金持ちじゃあなかろう。大きな歴史の転換点にめぐり合わせてしまったんだ。ガタガタしなさんな。」

クマさん「お〜、今日のご隠居さんはバカに開きなおったんじゃないか。」

ご隠居「だからマネーゲームがパンクしたら、新しい社会が生まれるんだ。そう思えば楽しみじゃあないか。私はそれを見届けたいんだ。どうせクマさんだってそんなに株券を持っているわけじゃあないだろう。」

クマさん「あっしがそんなもん、もっているわけがね〜や。」

ご隠居「だったら、心配することはない。まじめに仕事をやって稼ぐことだね。私らなんかの年金生活者は、政府が年金基金を半分株に投じてしまっ

ており、政府の財政もパンクで年金がなくなってしまうと飢えるしかない。そうしたことになったら運命だと思い、やむをえず良寛のように乞食生活をするか窮乏生活するしかない。70年前にはみんな食うか食わずの生活の中から復興してきたんだ。そうした覚悟を決めておけば怖いものはない。」

クマさん「お～、すげ～覚悟だ。見上げたもんだツバメの宙返り、たいしたもんだ（田へしたもんだ～）カエルのションベン」

ご隠居「なんだか少々品が悪くなってきたなあ。今日はこの辺にしておこう。」  
(2016, 2, 6)

#### <参考資料>

「世界を操る支配者の正体」(馬淵睦夫著、講談社)

「寅さんの香具師口上」 結構毛だらけ猫灰だらけ。

見上げたもんだよ屋根屋のフンドシ。

見下げて掘らせる井戸屋の後家さん。

上がっちゃいけないお米の相場、下がっちゃ怖いよ柳のお化け。

馬には乗ってみろ人には添ってみろってね。

モノのたとえにもいうだろう。モノの始まりが一なら国の始まりは大和の国だ。(以下略)

#### 長屋談義 その14 命の樹オリーブの話

クマさん「お～い ご隠居さん、いるか～ 元気かね～ まだ生きてるだろうな～。あ～いた、いた。なんだ元気そうじゃね～か。」

ご隠居「なんだい、また大きな声を出して、わたしゃ耳は少し遠いがそんなにがならなくても聞こえるよ。またなんかあったのかね。」

クマさん「いやね、ご隠居さんの姿がこのところ少し見えね～なんて話をカカアが言ってたもんでね～、ちょっぴり心配になって来てみたんで。」

ご隠居「わたしのことなら心配いらないよ。先週は町内の人たちと浜名湖の方へカキやフグを食べに行ってきたし、先日は小豆島まで行ってきたのさ。」

クマさん「へー、あの、なんだ、24のなんとかって映画になったところだろう。」

ご隠居「そうなんだ。24の瞳なんだが、私だって子供のころ見て涙を流したさ。けど今度はただの観光ではなくてオリーブの見学に行ってきたのさ。」

クマさん「オリーブ？ あの、なんだ。西洋料理に使う油かね。なんでそんなとこまで行ってきたんだ。」

ご隠居「小豆島はオリーブの産地なんだ。いまわたしはオリーブにこっているんだ。オリーブは健康に万能と言っていいくらいに高い効果があるんだ。わたしも2か月くらい前からオリーブ茶を飲んでけっこう血圧が下がってきたんだよ。」

クマさん「ふ～ん、オリーブ茶ね～、そんなもんで効くのかね～」

ご隠居「クマさん、オリーブをバカにしちゃあいけないよ。オリーブは地中海の方では4000年も前から食べたり、葉を煎じて飲んだり、傷に塗ったり、美容のために顔や手に塗ったりされてきたんだ。ヨーロッパではオリーブ葉エキスは薬局で薬として売られているんだ。」

クマさん「へー、そんなにいいもんだかね～、どうしてそんなに効き目があるっていうんだね。ご隠居さんのことだから自分で調べなけりゃあ納得しね～んだろ。」

ご隠居「うん、いいことを聞いてくれた。すこし話してみようかね。」

クマさん「いつものような長ったらしい話でなくかいつまんでやってくんね～かな。」

ご隠居「そうもいかんが、なるべくわかりやすく話してみよう。ところで私は5年前、心筋梗塞で入院したことがあったんだ。さいわい市立病院の近くだったからすぐ入院して早めの措置のため一週間で退院できたんだが、以来動脈硬化で降圧剤などの薬は毎日飲んでいるんだ。だけど薬を飲んでいても150台でそれ以下には下がらない。医者にはもって低いほうがいい、不養生だといつも叱られているんだ。ところがオリーブが血圧にいいと聞いて食べ物に入れたり、オリーブ葉を煎じて飲んでいたらさっき言ったようにだいぶ下がってきたんだ。」

クマさん「そんなもんかね～、でも良くなりゃあ結構な話だ。」

ご隠居「なんだか、まだあまり信用していないようだな。そうだ、クマさんはコレステロールって聞いたことはあるだろう。」

クマさん「ああ、そんなもんなら、あっしだって医者に減らせてっていわれていら〜あ。ゼニならたまってもいいけど、そんなもんためるつもりはね〜って医者には言うんだがどうもだめらしい。」

ご隠居「そうなんだ。国は肥満になると生活習慣病になる確率が高くなるからやせろ、コレステロールをためるな、と指導をさせているし、このためのコレステロール降下剤だけで年間5000億円も医療費で使っているんだ。」

クマさん「え〜、医者ができる薬にやあそんなにゼニが掛かっているんかア。びっくりぽんや。」

ご隠居「ほんらいコレステロールは人間の細胞に栄養を与えるし、脳の細胞は半分は油なんだ。だからコレステロールには良いものと悪玉コレステロールと言うのが健康診断に載っているんだ。クマさんも今度は診断表を見てごらん。HDLコレステロールとLDLコレステロールと書いてある。わたしのはオリーブ茶を飲み始めてからHDLは増えて、LDL（いわゆる悪玉コレステロール）が減っているんだ。この悪玉が増えると活性酸素と結びついて血管にアテロームと言うヘドロがくっつくようになると血液の循環が悪くなり、高血圧、心筋梗塞、脳出血などの原因となると言われているんだ。」

クマさん「え〜！そりやおどろいた。びっくりポンドころじゃあね〜ぞ。それでご隠居さんがオリーブにこったっていう話かア。」

ご隠居「いや、オリーブについては以前から関心があったんだが、知り合いがオリーブを栽培したいと言うので、いろいろ調べたり、見に行ったりしているうちにこれは本腰を入れて応援する必要があるなあと思ったんだ。そこで県の元幹部で大学教授になっている知人に相談に行ったらところちょうど同じような相談を受けていたんで、ひとつ県内でどんな具合か調べてみようという話になったんだ。それで講習会へ行ったり、視察に行ったりしているうちに県内に大勢オリーブ栽培をやっている人、これから広げたい人など大勢いることがわかってきたんだ。」

クマさん「なるほど、それで小豆島かあ。」

ご隠居「いや、そうではない。あまり早とちりされても困るなあ。じつはそうし

た見学会なんかをやっているうちに県内の連絡会をやろうということになって去年は大学で発会式をやって専門家を呼んでシンポジウムを



やったり、栽培家や県の関係者で研究集会をやったりしたのさ。そんな関係でわたしはいつの間にかオリーブ産地化推進のための応援団長を自称しているというわけだ。」

クマさん「応援団長かあ、それでのめりこんでしまったというわけかア。」

ご隠居「だけどさっき言ったように自分の動脈硬化にもいいということになればこりゃあ知らん顔はしてられないよ。そんなことでいろいろ本を読んだりしていると、オリーブのオイルや葉にはオリウロペインとかヒドロキシチロソールという抗酸化物が大量に含まれていてさっきの悪玉コレステロールを減らす効果があり血液の循環が良くなるというんだ。これはすごいぞと思ったねえ。自分の健康に役立つし、いま茶農家が不振と高齢化のため耕作放棄されている茶畑が多いんだ。これを何とかしたいと考えている人たちがオリーブの栽培を始めているんだ。だから応援団長としてもやりがいがあると思ったわけだ。」

クマさん「やっとなかった。それで小豆島見学かあ。なんかわかったかね。」

ご隠居「ああ、かなり収穫があったな。一緒に行ったメンバーは牧之原とか南の方の人だったが、わたしもこれらの人たちも同感だがオリーブオイルを作るには小面積ではいい油は採れない、採算性も悪い、むしろ油より効能が高いという医者の研究報告もあるんだからオリーブ葉茶を中心に考えてみようという人たちと一緒にいったんだ。事前にネット情報も見て行ったんだがやはり現場で実際見てくることは大事だな。」

クマさん「何が良かったんで。」

ご隠居「まず、樹齢1000年のオリーブの樹を見たなあ。これはスペインから移植したものなんだが、クマさんも写真を見てごらんよ。なにか神々しい様な感じがするだろう。西洋ではオリーブは神が人間に与えた神の樹なんだ。キリスト教でも大洪水の時にノアの箱舟で助かり、ハトがオリーブの枝を加えてきたので洪水の収まったことを知ったという旧約聖書がある。」

クマさん「それでもそりゃ毛唐のはなしじゃあね〜か、あつしにやあまり関係がね〜なア。」

ご隠居「でも面白い話もあるんだよ。むかしフランスとスペインが戦争をやった時、スペインの兵士は槍や刀の傷をすぐに治してまた戦場に戻ってくる。押されたフランス側がスパイで調べるとスペイン人は傷口をオリーブの軟膏を塗って熱が出てオリーブ茶ですぐに治ってしまうの

で、しまいにフランス人もオリーブを植える様になったというんだ。」

クマさん「そんなうまい話があるんかいな。」

ご隠居「医者の研究では、オリーブの高い抗酸化力が抗菌性、つまり殺菌効果も高く、それに油も傷口を守るからだろう。それにオリーブにはクマさんの糖尿にも効くそうだよ。」

クマさん「え〜。あっしの糖尿にもいいんかあ。それじゃあ、もっとしっかり聞かなきゃあなあ。」

ご隠居「松生恒夫という医師が『オリーブハンドブック』という本で紹介しているが、オリーブオイルがインスリンの効果を改善し、血液中のインスリン濃度を下げるとしているんだ。トリニティ大学で糖尿病患者 11 人にオレイン酸（オリーブに含まれる）の多い食事を 2 か月させてインスリン抵抗性が増加した（改善した）と言うデータを示しているんだ。」

クマさん「そうかあ、さっそくカカアにオリーブを買って来いって言ってやろう。そうすりゃあ、あっしの糖尿病もよくなるんだろ。」

ご隠居「動脈硬化も糖尿病も生活習慣病だから生活の改善も必要だよ。人のことは言えないが、私の場合も酒をいただく機会が多く、つい飲みすぎてコレステロールも増やして、肝臓のガンマGTPが高いって医者に言われてしまうんだ。そうした元を直さないといくらオリーブが良いと言っても保証はできないね。」

クマさん「なんだ、急に説教になってきたんじゃあね〜か。」

ご隠居「いや、いまのは私の自戒だよ。お互いに自分の健康は自分で気を付けていかなければだめだ。人間の身体はバランスも大事だ。チマチマして生きていたから長生きできるわけじゃあないが、過ぎたるは及ばざるがごとしで、食べ過ぎ、飲み過ぎは良くないってことさ。」

クマさん「なんだか、話が面白くなくなったぞ。小豆島ではもっとほかの話はね〜のかなア。」

ご隠居「遊びに入ったわけじゃあないし、勉強に行ったんだから、おおいに参考になった話はあるさ。ただそれもオリーブの栽培方法なんかの話じゃあ聞いても面白くないだろう。」

クマさん「それじゃあ、オリーブがもっとあっしにも良いっていう話はあるか

なあ。」

ご隠居「そうだな。さっきの松生先生の話では、オリーブオイルは便秘の人にも大変いいようだな。オリーブを食事の中でたくさん摂るようにしたらいい。また体にたまっている毒素、いまはいろんな添加物があるからなあ。排泄も大切な作用だ。」

クマさん「そりゃ、さっそくカカアに言ってやりゃあ喜ぶぞ。だけどオリーブなんか使った料理なんかつくれるかなあ。」

ご隠居「いや、オリーブオイルだから西洋料理を作れなんてことはない。普通の食事でどんどん使えばいいんだ。たとえばみそ汁を作ったら少々オリーブを入れるとうまみが増す。冷ややっこを食べるときに醤油に少しオリーブを垂らすとうまいぞ。それに納豆ご飯などに少し入れるんだ。すると風味が増してこれも美味しい。パンにつけたら最高だ。」

クマさん「へー、あっしらがいつも食っているやつへオリーブを垂らせばいいのかア。それなら楽ちんだ。」

ご隠居「奥さんにはオリーブを手や顔に塗るのも化粧品代わりにもなるんだ。世界中のオイルで一番うすく伸びるのもオリーブ油なんだ。だから手に付けてもあまりべとつかず吸収されるんだ。」

クマさん「えー、化粧品の代わりにもなるんかあ。そりゃあ、おもしれ〜や。」

ご隠居「日焼け止めクリームより効果があるというデータもあるんだ。こうした健康と美容の効果もあり、観光の島でもある小豆島のどこの土産物売り場へ行っても食品、菓子類、化粧品、飲み物などあらゆる土産品にオリーブが入っているんだ。オリーブ牛のステーキ、抗生物質よりも効くのでオリーブハマチなんてものもあったな。小さな島で山が高く、平地が少なく農地も少ないのでオリーブの付加価値を高めるための工夫がいっぱいあるんだ。」

クマさん「そんな苦勞している小豆島のマネをしてご隠居さんたちがオリーブを静岡県で作ったら気の毒じゃあね〜か。」

ご隠居「クマさんもいいことをいうね〜、けどいま日本中、健康ブームでオリーブの需要がうなぎ上りで急増しているが、99.8%はイタリアやスペインなど外国からの輸入だよ。スーパーへ行ったら。オリーブ油コーナーができているんだ。静岡でいくら作っても地産地消の一部にもならない。けどクマさん、気を付けなくてはならないのは

ブームになると粗悪品でもエキストラバージンオイルなんてラベルが付いているものがあるからね。せいぜい一瓶1000円以上のものを買ってほしいな。」

クマさん「そんな高いもんをカカアが買うかなア。」

ご隠居「いや、クマさん、さっき言っただろう。人間の脳細胞の半分は油なんだよ。最近、本屋に『ボケになりたくなかったらいい油を』とか『サラダ油をやめろ』みたいな本がたくさん出ているんだ。酸化した油を摂っていると脳の海馬を侵されて認知症になるなんて怖いことが書いてあるんだ。悪玉コレステロールを減らして、糖尿病を抑制するためにも少しだけ奮発して良いオイルを買ったほうが病気より安いよ。」

クマさん「ふ～ん、そういわれるといいオリーブを買って来い、っていうかな。」

ご隠居「そうだよ。私だって心筋梗塞でぼっくり逝くのはいいけど、認知症にはなりたくないからね～。だからなるべくいいオイルを買うことにしているんだよ。そうすれば風味の良い食事がとれるし、悪玉コレステロールを減らし血行が良くなるし、認知症の予防にもなるんなら一石三鳥だと思っているのさ。事実、地中海方面では血管障害による心臓疾患や認知症は動物性脂肪を取る食が多い地方に比べると全く少ないというデータがあるんだ。」

クマさん「それでオリーブにのめりこんでいるわけだナ。だけどオリーブ以外のものだって体にいいものはたくさんあるんだろ。」

ご隠居「もちろんそうさ。私がオリーブにほれ込んでも外のを止めせよなんてちっとも考えていないし、むしろさっき云った通り人間はバランスが必要なんだ。脂肪も絶対必要なんだ。だからなるべく植物油が望ましいんだ。しかし植物油といっても大豆油は原料段階、製造段階で酸化が激しいし薬品処理工程も多いから安いが勧められない。マーガリンはトランス脂肪酸と言って危険でアメリカでも食用禁止になる。青魚の脂はDHAなど不飽和酸を含んでおり良いものだが、多価不飽和酸でオリーブオイルだけは一価不飽和酸と言って、最近E F S A (ヨーロッパ食品安全局) が厳しい検査の中でオリーブが、『酸化ストレスを減らす』、『抗酸化特性』があると認証しましたと報告されているんだ。これらががんを予防する効果もあるんだ。」

クマさん「なるほどなア、そこまで言われちゃあ、あっしもなんともいいよう

がね～や。明日からオリーブを一所懸命食べるとするか。」

ご隠居「いや、クマさん、オリーブを食べると言うが野菜と一緒に食べると効果が高まるし、野菜を忘れちゃあだめだよ。それから漬物や味噌醤油の乳酸菌や発酵菌が大事だし、そうしたバランスが和食にはあるんだ。それにオリーブには抗酸化力による抗菌性も高いんだ。だけど体にいい乳酸菌は維持されるんだ。それを大事にしながら工業製品の悪い油を避けることが大事だ。オリーブは唯一、工業製品ではなく果実そのものからの油なんだ。その他の植物油は種を砕いて絞る工業化のなかで精製される油なんだ。」

クマさん「ふ～ん、そんなにちがうもんか～。ところでそんなにいいもんがなぜ

日本にはなかったんだ。」

ご隠居「ああ、いい質問だ。クマさんは静岡県の樹は何だか知っているかな？」

クマさん「県の木？桜かな、富士桜っていうんじゃないか。」

ご隠居「県の木はモクセイなんだ。オリーブは樹種としてはモクセイ科オリーブ属というからまんざら縁がないわけじゃあない。オリーブはクレタ島に樹齢5000年と言う樹が生きて残っているんだ。発祥の地は分かっていないようだが6000年前から地中海沿岸の各地で栽培が広がったようなんだ。日本へは信長の時代や江戸時代、明治時代にも何回か持ち込まれたようだがあまり定着できなかったんだ。その頃の日本人はあまり脂っこいものを食べる風習がなかったからだ。」

クマさん「だって健康にいいものならお茶にしてもよかったんじゃないか。」

ご隠居「うん、いいところを突いてくるな。ところが日本には鎌倉時代に静岡市の足久保出身の栄西禅師が中国からお茶を持ってきて全国へ広がったんだ。その頃はお茶は薬だったんだ。お茶にはカテキンという抗酸化力があるポリフェノールがあるんだ。昔の人はお茶が健康維持のために身体が欲していること感じて一般庶民の間にも広がったんだ。お茶はイギリス人もインドから持ち込んだんだ。」

クマさん「ありゃ～、紅茶だろう。」

ご隠居「ああ、紅茶も茶の樹はおなじだ。葉っぱを船で運ぶうちに発酵して味や香りがよくなったんだな。イギリス人はお茶無しではいられなくな

ってしまったんだ。」

クマさん「紅茶もお茶も同じ木の葉っぱかあ。じゃあ、アメリカ人なんかはなぜコーヒーを飲むんだ。」

ご隠居「アメリカにも明治時代などお茶を輸出していたんだが、南部やブラジルなど南米などでコーヒーが大量に栽培されコーヒーが広がったんだ。コーヒーにもポリフェノールがあるから、やはり自然に抗酸化力の食品を必要としたんだな。」

クマさん「ふ〜ん、また抗酸化力かあ。そりゃあ一体どんな役に立つんでイ。」

ご隠居「人間は呼吸によって酸素を取り込んで食物からの養分を燃やしてエネルギーを作っているんだが、他方余った酸素で抗菌性の活性酸素を作り病原菌などの侵入に対して除菌する効果も果たしているんだが、人間だんだん歳を取ったり、過度の紫外線やストレスがあるところの活性酸素が増えすぎるんだ。そこでお茶などの抗酸化力のあるものが必要になるんだ。だから地中海の人たちもお茶と同じように何千年もオリーブの葉を煎じて飲んできたんだ。」

クマさん「じゃあ、あつしもオリーブ茶なんぞ飲まなかったって、お茶やコーヒーを飲んでいりゃあいんだらう。」

ご隠居「ああ、いいとも。わたしもお茶をやめてオリーブ葉茶を飲んでくれるって言うつもりはないね。ただ、現在人はストレスも多いし、食品添加物によるアレルギーなどのストレスも多い。そうしたことで心臓病、糖尿病、がん、脳こうそくなどの生活習慣病が増大しているんだが、こうした状況に対応するためにお茶やコーヒーを飲みすぎたらカフェインと言う刺激物があるから胃を悪くする場合があるし、悪玉コレステロールを減少させる効果ではオリーブの方が優れているという医学的見地があり、動脈硬化の自分を考えるとオリーブ葉茶の方がいいかなと思っているんだ。」

クマさん「オリーブにはカフェインはね〜のか。」

ご隠居「だからたくさん飲んで寝られなくなるなんて心配はない。それとオリーブ葉にはお茶やコーヒーよりもず〜っと多くポリフェノールであるオリウロペインやヒドロキシチロソールと言った薬効があると医学的に立証されているし、高い抗酸化力で抗菌作用も強いんだ。だからオリーブオイルやオリーブ葉茶を多く摂取していると、風邪や

ヘルペスなど細菌による感染症の予防効果もあると報告されているんだ。」

クマさん「へー、そこまで言われちゃあ、何とも言えね〜なア。そんないいもんがなぜ日本でもっと広がって居なかったんだろう。」

ご隠居「そうなんだ。好奇心の強いと思っているわたしでさえ知らなかったからなあ。つまり本場の小豆島でさえ最近になってオリーブ葉茶に取り組み始めたところなんだ。それと大学等の研究機関でもオリーブ葉の薬効などの研究や発表は4~5年前からで、オリーブの本もまだあまり出版されていないんだ。私もネットで探して翻訳本を取り寄せていま読んでいるんだ。」

クマさん「な〜んだ。ご隠居さんもそんな程度かア。じゃあ、あっしが知らね〜のもムリね〜や。安心したぜ。」

ご隠居「さっき言った通り健康ブームの中でこの4~5年のオリーブ油の輸入量はうなぎ上りで急増しているんだが、国内での栽培はごくわずかだからまだまだこれからだよ。県内でもまだ始まったばかりだ。私があちらこちらでオリーブ葉茶の話もするんだが、それはどこで売っているのって聞かれるんだ。県内でも2か所だな。私も苗を作っている人が乾燥茶を作ったのをいただいて煎じて飲んでいる程度なんだ。」

クマさん「じゃあ、これから県内でもオリーブ油やオリーブ葉茶がつくられるんか。そりゃあ結構だなア。」

ご隠居「だから去年、産業大学や静岡市内で研究会をやったんだが結構栽培を目指す人やグループが思った以上にいたんだ。そうした人たちを応援しようと思って応援団長を買って出たわけさ。今年はそう言う人たちが苗を準備したり、畑を造成しているから今年の春以降、県内のオリーブ畑は急速に拡大する見込みなんだよ。」

クマさん「そりゃあ楽しみだ。あっしもその植えるところを見てみたくなっとなあ。」

ご隠居「春には植樹祭をやるところがあるから教えてあげるから応援に来てくれないか。面白いことに去年は静岡市内のお茶で有名な足久保で自治会連合会がオリーブ植樹祭をやったり、伊豆の下田市ではパチカンから神父さんが苗を持ってきて市長や地方創生大臣などと植樹祭をやっ

たりしているんだ。その他の地区でも農家だけでなくNPOや地域グループが『オリーブの樹里親制度』をやったりしているんだ。これから  
ますます楽しくなるぞ。」

クマさん「なんだか、ご隠居さんも燃えているなあ。普段とはだいぶちがうなあ。張り切りすぎてダウンしちゃあダメだぞ。うちのカカアも心配していたぞ。すこし酒が多いんじゃないかなあ〜かなあ〜。」

ご隠居「(^O^)アハハ！ また痛いところを突かれたなあ。わたしにゃあ生涯〜オリーブって強え〜味方があるんだ、なんて意気込んでもやはり無理は効かなくなっていることはよく自覚しているよ。だから奥方にも安心するよう言うておいてくれないかね。」

クマさん「ところでご隠居さんがオリーブ応援団長なんて言っていたが、自分の健康だけじゃあないんだろう。ほかにも何か魂胆がありそうだなア」  
ご隠居「よく気がついたな。クマさん、静岡を代表する農産物は何だか知っているね。」

クマさん「え〜と、お茶とミカンだろう。」

ご隠居「そういう時代もあったが、ミカンはグレープフルーツやその他のフルーツの輸入自由化で衰退してしまっている。むかしは藤枝市なんかは見渡す限りミカン山だったが、いまはほとんど竹藪になっている。そしてお茶は葉っぱで飲む人が減ってペットボトルだし、鹿児島茶に押されて青息吐息だ。だから高齢化でもあり茶園をやめてしまう人がかなり多いんだ。だから耕作放棄地が竹藪になるのを防ぎ、少しでも茶農家の支えになつたらいいな、と思っている。オリーブの栽培はお茶よりは楽だと言われている。基本は同じようなものだ。だから温暖な静岡県はオリーブに向いていると思うんだ。年間日照も2000時間くらいほしいが榛南の方は2400時間もある。だからオリーブを新しい静岡の産地化ができたらいいなあ、と思っているんだ。私の残されたライフワークかなあ。」

クマさん「へー、そんな大きな夢があるんだ。大したもんだ。たまげたな〜」  
ご隠居「そんな驚くようなものじゃないがね。さっきも言った通り歳でもあり頭も鈍って、足腰も弱っているんだからあと何年応援できるかわからないぞ。でもせつかくオリーブを植えている人たちの収入にもなる



ように製品の販売にも気を配って行きたいんだ。だからいいものを作って静岡の産物にしたいし、地産地消という言葉もあるように消費者にアピールもしていかななくてはならない。これは私がお世話になった社会への恩返しだと思いうようにしているんだ。」

クマさん「なるほど、そうした心がけじゃあ〜、あっしらが心配するわけにも行けね〜なァ。だけど年寄りの冷や水という言葉もあるんだから無理をしちゃあいけね〜ぜ。」

ご隠居「ああ、心配してくれてありがとう。だけど自分でもオリーブ油を食事に使い、オリーブ葉茶を飲んで調子がいいのでいろんな会合で説明するとみんな関心を深めてくれて激励してくれるので心強いんだ。オリーブを通じて友人、知人も増えたし、出かけるところも増えて忙しくなってしまう大変だがやりがいがあるんだよ。」

クマさん「なんだか、ご隠居さんに煽られちゃうなあ。それで事業化への見通しはあるんかいな。」

ご隠居「今回、小豆島へ行ってきたんだが、じつにさまざまな食品、土産品、化粧品などがあつたけど私は特色のあるものを作る必要があると思つたね。たとえば今の法律では『オリーブ葉茶で血圧が下がります』なんて商品に書くわけにはいかない。だけど機能性食品の届け出制度と言うのができて、医学的文献等の資料を添付して届出が受理されると従来以上に効果を表示することができるんだ。たとえば三ケ日ミカンも届け出が受理されると、ミカンにはビタミンCがあります、だけでなくビタミンCの医学的効果を表示できるんだ。これにより健康増進効果をアピールすることができるんだ。そうした資料作りを県立大学と協力連携して進めたり、商品化を進めたいんだ。」

クマさん「ほ〜、そこまで考えているんだ。なかなか大変だ。だけど先立つものがなけりゃ〜だめだな。」

ご隠居「そうなんだ。そこが一番問題なんだ。だからまず法人を作る応援をする。そして補助金等が利用できるような方法も考えていくんだ。応援団長としては法人の名前を考えているんだ。」

クマさん「へー、気が早え〜なァ。で、どんな名前で？」

ご隠居「それは『オリーブの願い』というんだ。一番にオリーブでみんなの健康を増進したいんだ。クマさんのような糖尿病予備軍を入れると1千

万人だ。高血圧とされる人は4, 500万人だ。国の医療費はすでに38兆円を超えている。医薬品だけでも8兆円だ。薬好きの日本人と言うわけだ。もう国の財政はパンクだ。薬に頼っていても治らない。二番目には農業を応援したい。三番目には社会への貢献だ。オリーブはイタリア、ギリシャでは神様の樹だ。そして国際連合のシンボルマークにもなっている。シリアやイスラエルなどオリーブ栽培地の平和の維持を願いたいね。」

クマさん「なんだか、えれ～難しくなってきたなあ。ひとつ、二つは分かるがちょっと考えすぎだ～。」

ご隠居「そうかもしれないな。でも私のような歳になるとあの世に行っても恥ずかしくないような功德を積まなくては申し訳が立たないからなあ。」

クマさん「やれやれ、またご隠居さんのお説教になると困るからもうこの辺でご勘弁ねがいませ。あんまりあの世なんて話をご返上願うぜ。」

ご隠居「まあ、だいじょうぶだよ。わたしにはまだオリーブを県内に広げる応援団長としての仕事があるからお迎えは返上するよ。オリーブのおかげで体調もいいからそのうちに一杯やりながらまた話そうよ。」

#### <参考>

「オリーブオイル・ハンドブック」(松生恒夫、鈴木俊久) 朝日新書

「オリーブの木」(ベルナール・ジャコト) 川出書房新社

「オリーブ葉エキスの力」(医学博士M・ウォーカー) 中央アート出版社

#### <閑話休題>

- ① たくさんの荷物を抱えたお年寄りがバスに乗り込んで来ました。しかし、誰一人として席を譲ろうとはしません。何故でしょう？
- ② お酒は、20歳から飲めます。  
タバコは20歳から吸えます。  
選挙権は、20歳から投票できます。  
自動車は、何歳から乗れますか
- ③ 完璧な白は「しろ」 完璧な黒は「くろ」 完璧な赤は「か」

では完璧な青は？

- ◎ 早や1月も過ぎ、時のたつのが早く感じるのは世界的な感覚だそうです。地球の波動が高くなっているからだという説があります。何のことかわからないでしょう。人間の心というのか感覚の波長が早くなっているというのですがやはりなんだかわかりません。それが人類の進化であればうれしいのですがね～(^O^)
- ◎ 裏の世界があるという話は以前から聞いていたが、元大使で大学教授の本を読んで改めて納得、そしてそうした勢力が限界にきていることも事実だ。カネを貸して利子を取るのはユダヤ人の発明だ。FRBもアメリカとイスラエルの二重国籍の人が理事長をやっているのも事実、ボルカー、グリーンSPAN、現イエレンもみんなユダヤ人であり、国際金融家の意向にあった人間だ。
- ◎ オリーブは本当に良いと実感しています。みなさんもぜひお試しになってください。先日も後輩で脳梗塞の後遺症で半身不随となって居た者と会いました。さっそくオリーブを進めました。記憶減退の方、通販で「アホエン」というニンニク成分をオリーブオイルで低温熟成させたのが特効薬だそうです。神経伝達物質・アセチルコリンが認知症予防に最近人気ようです。HPで調べてください。
- ◎ 春はもうすぐ、そんな時節は心に桜の開花が目に見えかぶ。花のたよりは心を弾ませる。そんなおり早くも廿日祭の「極め太鼓」の案内が。“春と聞かねば～知らでありしを～きけばせかるる胸の想い～”なんて歌も思い出します。

佐 塚 充

<e-mail;m-sazuka@po.dws.ne.jp>

- ① 空いていたから
- ② ゼロ歳
- ③ 「さお」・・・真っ白、真っ赤、真っ黒、